

出石
いざし
城下町

伝建 かわら版



平成 27 年 2 月 25 日発行 / 豊岡市・豊岡市教育委員会（出石支所：兵庫県豊岡市出石町内町 1 番地 TEL0796-52-3111）

奈良県 今井町伝建地区 視察研修・参加者募集!!

出石まちなみ保存会、出石まちなみ設計士会、市の共催による先進地視察研修の参加者を募集します。

今年度の視察先は、奈良県橿原市今井町伝建地区。中世末期に一向宗の寺内町（じないちょう）として成立し、江戸時代は「大和の金は今井に七分」と謳われるほど発展した商業都市でした。

地区内には、国の重要文化財9件のほか、全国の伝建地区のなかで最も多い504棟（出石は248棟）の伝統的建造物が残され、江戸時代のたたずまいを今に伝えています。

毎年定員に余裕がありますので、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

<視察研修のあらまし>

- ☆日 時 平成27年**3月24日(火)**
午前7時00分出発
午後7時頃帰着(予定)
- ☆集合場所 豊岡市出石支所 南側駐車場
- ☆視察先 奈良県 **橿原市今井町伝建地区**
- ☆募集対象 出石伝建地区の関係者ならどなたでも
- ☆募集人数 22人(保存会新旧役員優先のうえ、先着順)
- ☆参加費 保存会の会員(地区住民)は1,000円
(その他の方は昼食代等 2,000円)
- ☆申込期間 **2月25日(水)~3月16日(月)**
- ☆申込方法 豊岡市出石支所までご連絡ください
(Tel:0796-52-3111)



今井町伝建地区の町並み（橿原市提供）

ベンガラがまぶしい町家等が復活

平成26年度、4件の伝建事業が無事完了しました。

一件ずつ丁寧に修理(復元)することにより、出石の町並みがまた美しくなりました。町並み保存に理解をもって伝建事業に協力いただいた所有者のみなさまに感謝し、工事前後の外観写真と修理のポイントを紹介します。

1

田中家住宅(本町)



【修理前】

1階の建具は、すべてアルミサッシになっていました。
2階は“和風っぽい”ですが、出石の町家の正面には本来張られない板が張られていました。
窓の位置も出石の町家としては不自然な様式でした。



【修理後】

田中さんの希望どおり、ガレージとしての機能を持たせたまま修理することができました。また、工事着手後の調査を元に、2階に大きな出格子を復元しました。ベンガラも美しく、“出石らしさ”たっぷりになりました。

～田中 護さんから一言!～

「出石に帰ってくることにになり、伝建事業で素敵な佇まいにして頂きました。もっと伝建事業が広まって出石に移り住んでくれる方が増えると嬉しいです。」

2

魚屋天神社(材木)



【修理前】

正面から見ると立派な神社ですが、隣が空地のため、奥の本殿部分のトタンが目立っていました。
トタン自体も老朽化が進み、雨水の侵入による建物の腐食が心配されていました。



【修理後】

奥の本殿部分の外壁を板張りにし、基礎部分のモルタルを修理することで、眺めが大変よくなりました。その他、要所を修理することで維持を図りました。

～魚屋天神社 総代 小畑宏明さんから一言!～

「この度、伝建修理の補助金はありがたかった。今後、天神社を区民はもとより地域おこしとして活かしていきたい。更に周辺も修理が進み、お詣りが増えてほしいです。」

3 篠原家住宅（田結庄）



【修理前】

1階はすべて現代風に改装され、元の姿の名残はありませんでした。
2階は建築当初からの姿を維持していますが、老朽化が進み、強風時には雨戸が飛んでしまうことが心配されていました。



【修理後】

工事着手後の一階部分の調査で、篠原さんからの聞き取りどおりの扉や窓のあとが発見され、外観デザインが決まりました。左右の壁（雨戸袋及びエアコン室外機の裏側）には構造補強壁を設置し、より安全性を向上させています。二階の雨戸も新調し、出石を代表する景観通り“大鍛冶の細間”がまたさらに美しくなりました。

～篠原道子さんから一言！～

「雨戸が飛んでいかないか不安だったけど、よくしてもらったので、強い風が吹いても安心して眠れます。」

4 新見家住宅（宵田）



【修理前】

菱形の虫籠窓のデザインが秀逸な町家ですが、壁がひび割れるとともに出格子や玄関戸も破損していました。雨漏りもしており、早急に修理する必要があります。
また、全体的に傾いており、耐震上も不安な状態でした。



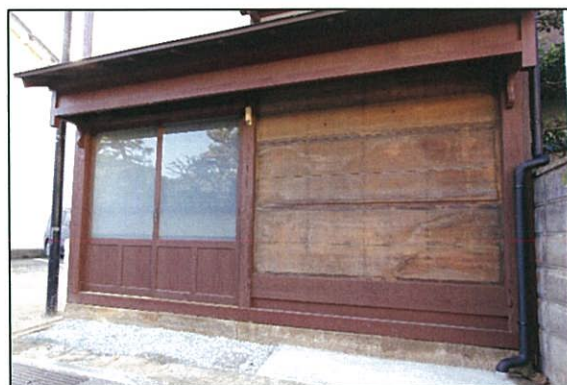
【修理後】

左官屋さんの職人技で、この町家のシンボルといえる菱形の虫籠窓がきれいに修復されました。出格子、戸も同じデザインで造り直しました。また、1階右側の窓の内部には耐震格子のほか、必要な個所に耐震ダンパーという金具を設置し、構造補強を行いました。

～岡本弘美さん(所有者)から一言！～

「伝建事業のお世話になり、空家のままで放っておいた家が私の知らない美しい家となり、きっと亡き祖母が喜んでいいます。本当に伝建事業に感謝です。」

これが「摺り上げ戸」です！



工事中、1階正面右の窓の上部から摺り上げ戸（すりあげど）が発見されました。「縦型の雨戸」といったもので、3つに分かれている板戸を1枚ずつ順に摺り上げ、上部に重ねて収納します。まだガラス戸がなかった昔は、このような板戸が使われていました。存在は確認されていましたが、摺り上げ戸自体の発見は伝建事業で初めてのことでした。

平成28年度伝建事業希望者を募集

この機会に修理、修景してみませんか

豊岡市では、平成28年度伝建事業の実施希望者を募集します。

これまでは国、県の予算配分の関係上、事業実施を希望されても事業化されない物件があり、翌年度以降に再希望していただく、いわゆる“積み残し物件”がありました。そこに、新規に希望される物件が加わるので、“積み残し物件”がさらに増える傾向にありました。

しかし、平成27年度はすべての希望物件を事業化することができ、“積み残し物件”が0件になりました。そのため、平成28年度は新規希望者も事業化されやすい年と言えます。

修理事業だけでなく、修景事業も広く募集しますので、この機会にぜひ事業実施をご検討願います。
(国県の採択枠がありますので、申請いただいても事業化を約束するものではありません。)

募集概要

- **募集事業**
 - ・ 修理事業＝「伝統的建造物」の登録建物で、外観の修理（復元）、構造補強を行う工事
※未登録でも登録される価値のある建物を含みます。
 - ・ 修景事業＝昭和30年代以降の建物、またはこれから新築される建物で、外観を出石の町家のデザインに改修する工事
※門、塀なども対象になります。
- **補助金額**
 - ・ 修理事業＝外観、構造工事費用の8割、上限800万円
 - ・ 修景事業＝外観、構造工事費用の6割、上限600万円
- **申請書類** 出石支所総務係にあります
- **提出先** 物件所在地の区長宅（3月までは平成26年の区長宅）
- **提出期限** 5月28日（木）必着
- **スケジュール**

H27年5月	事業希望者募集
6月	出石まちなみ保存会役員会で優先順位決定
6～8月	調査、基本設計
H28年2月	事業実施の可否の決定（国の採択通知）
4月～	実施設計
6月頃～	修理・修景工事開始
- **その他** 申請にはいろいろな制約があります。
まずは早めに出石支所までご相談ください。
- **問合せ先** 豊岡市役所 出石支所（TEL. 0796-52-3111）

1月3日、城崎で大きな火災がありました。亡くなられたお二人のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。出石伝建地区も木造密集地、ひとたび火が上がると大火災になりかねません。日ごろからの用心が肝要です。

火の用心！